

次世代の働き方議論

建コン協九州
働き方改革セミナー

建設コンサルタンツ協会
（建コン協）九州支部（田中
清支部長）は16日、2023

年度の「働き方改革セミナー」を福岡市博多区の同支部で開いた。労働時間管理や若手社員の採用・定着・育成など建設コンサルタンタ業界での次世代の働き方についてパネルディスカッションを行った。

パネルディスカッションは八千代エンジニヤリング九州支店の眞間修一取締役兼常務執行役員支店長、長大福岡支社の太刀掛正俊主任技師、三井共同建設コンサルタンツ九州支社の増本哲也技師、西鉄シー・イー・コンサルタントの熊川正勝社会インフラ部長をパネリストに迎え、社会保険労務士法人アドバンス代表

社員の伴芳夫社会保険労務士がファシリーターを務めた。

労働時間管理では、長大は個人の能力に応じた目標残業時間制度を導入、西鉄シー・イー・コンサルタントは残業の事後成果報告を実施していると説明した。

若手社員の採用・定着・育成では、三井共同建設コンサルタントは定着に向けて悩みなどを一人で抱え込まないように同期の交流を行っていると紹介。八千代エンジニヤリングは採用でのミスマッチ解消に向け大学との共同研究を通じて学生の業務理解を促進していると説明した。